

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	5年	内容項目	4－(7)
主題名	ふるさとを愛する				
資料名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に受けつがれる伝統や文化を見つめよう 亀山宿から関宿へ 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会) ・ぼくのふるさとー原田泰治 「道徳指導資料」(文溪堂) 				
ねらい	郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、郷土や国を愛そうとする心情を深める。				
展開	学習活動と主な発問		指導上の要点		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 原田泰治さんの絵を見る。 「この絵を見て気がついたこと、思ったことを聞かせてください。」 「この絵はその場で描いたのだろうか？それとも、ちがう場所で思い出して描いたのだろうか？」 2 「ぼくのふるさと」を読んで、感想を発表しあう。 「ぼくは、どんな思いをもとにふるさとの村の絵を描いているのだろうか？」 3 「ふるさと」のよさについて考え、交流し合う。 「今、私たちの住んでいる『ふるさと・紀宝町』のいいところを考えてみよう。」 「一人ひとりが考えた、ふるさとのいいところ」をみんなで交流し合いましょう。」 4 教師の話聞く 		<ul style="list-style-type: none"> ・細部まで描かれている世界を感じられるように絵を拡大掲示あるいは、児童用にカラーの資料を用意する。 ・原田泰治さんを紹介する。 ・ワークシートを使って一人ひとり児童が感想をもち、交流できるようにする。 ・児童一人ひとりが「ふるさと」のよさについて考えたことを書くワークシートを用意する。 ・発表されたことを板書して共有する。 ・「三重県 心のノート」を活用 ・本時の学習を振り返る 		
他の教育活動との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間の読み聞かせの活動を通じて地域のボランティアの方との交流 ・学校行事をとおしての地域の人々との交流 ・「総合的な学習の時間」での調べ活動 				
成果と課題	いろいろなところや立場で、ふるさとへの思いをもって生活している人々との出会いの機会を通じてその思いに直接触れたり、あらためて地域の自然を振り返る等の体験を通じてふるさとへの思いを深める中で、我が国の文化や伝統等の世界に視野を広げていくこと。				

ぼくのふるさと—原田泰治

名前 年

「ぼく」は、どんな思いから、信州の伊賀良村の絵をかいているのでしょう。

